

静かに、燃えるような挑戦——

2021.10.9<sup>土</sup>  
12.12<sup>日</sup>

※会期中、一部展示替えを行います  
(前期:10月9日~11月7日、後期:11月9日~12月12日)

没後  
110周年  
記念

# 菱田春草と 画壇の 挑戦者たち

大観、観山、  
その後の日本画

菱田春草・木村武山《葡萄図・秋草図》1910年頃、1913年 水野美術館蔵

開館時間=10月31日(日)まで9:30~17:30(最終入館17:00)  
11月2日(火)から9:30~17:00(最終入館16:30)

休館日=毎週月曜日

入館料=一般1000円 中・高校生600円 小学生300円

※20名以上の団体は各100円引 ※小・中学校が授業の一環として利用する場合は無料

※小・中学生は毎週土曜日無料 ※お着物でご来館の方は半額

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付添1名は半額(要手帳提示)

主催=水野美術館 特別協力=長野県立美術館、飯田市美術博物館

公益財団法人

水野美術館

〒380-0928 長野市若里6-2-20

Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311

<https://www.mizuno-museum.jp>

没後  
110周年  
記念

# 菱田春草と画壇の挑戦者たち

～大観、観山、その後の日本画

明治期、朦朧体などの新しい技法を生み出し、それまでなかった日本画のあり方を模索した菱田春草(1874～1911年)。時に世間からの厳しい批判にさらされながら、表現の追求を決して諦めなかった彼は、日本画壇における“挑戦者”そのものでした。

本展では、今年没110年を迎える春草を中心に、同時代あるいはその後の画壇を切り拓いた画家たちの表現に焦点をあてます。期間中、当館および長野県立美術館・飯田市美術博物館ほか県内で収蔵する春草作品46点が集結。年に一度、特別展示をする横山大観《無我》や102年振りに公開となる大観・春草《観音・達磨》(新収蔵作品)など、前後期併せ76点を一堂に展覽します。

**静かに燃えるような画家たちの挑戦の数々をどうぞ目の当たりにしてください!**



後期 菱田春草・西郷孤月《落葉の図・紅葉の図》1901年、1903～7年 個人蔵

## 挑戦の裏側

未完成作から見えてくるもの



前期 菱田春草《牧童(未完成)》制作年不詳 飯田市美術博物館蔵

## 組作品・合作への挑戦

垣間見える日本美術院メンバーたちとの研鑽

## イベント ※各回とも申込不要、参加無料(要当日有効の入館券)

### 特別ギャラリートーク「新たな芸術を切り拓いた、春草の挑戦」

春草研究を長年されてきた松井美保氏に、春草が追求した表現についてお話し頂きます。

- 日時:10月23日(土)13:30～ ●場所:展示室
- 講師:飯田市美術博物館 客員研究員 松井美保

### 学芸員によるギャラリートーク

- 日時:10月17日(日)11:00～、12月4日(土)13:30～
- 場所:展示室

※状況により、展覧会およびイベントが変更・中止となる可能性があります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。

次回展 水野コレクション 人を描く 一橋本雅邦から高山辰雄まで  
会期:2022年1月2日(日)～3月21日(月・祝)

## 線への挑戦

東京美術学校時代、修練の末に培った線への追求



横山大観《無我》1897年 水野美術館蔵



下村観山《西洋婦人》1890年 水野美術館蔵



前期 菱田春草《羅漢》1890年 春草会蔵

## 「朦朧体」への激しい批判のなかで貫いた姿勢 光・空気への挑戦



後期 菱田春草《月下白鷺》1901年 水野美術館蔵



前期 下村観山《雨後富士》1923年頃 飯田市美術博物館蔵



後期 菱田春草《秋草》1902年 水野美術館蔵



菱田春草《秋夜図》1903年頃 長野県立美術館蔵

海外渡航と五浦時代を経た、春草晩年までの表現研究の痕跡



facebook 随時更新中! YouTube

公益財団法人 水野美術館 ZENKOJIDAIARA ART LINE 善光寺平アートライン

〒380-0928 長野市若里6-2-20 Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311 https://www.mizuno-museum.jp

入館料 割引券

100円引

※会期中1枚につき1名様のみ有効 ※他の割引券との併用はできません